



中村組が文具寄付

元吉原小の新1年生に

富士市田中新田の建設業中村組(西村義人社長)は5日、元吉原小(前島英喜校長)に新入学児童のための文具60セットを寄付した。

西村社長と齋藤勝管

理本部長、佐藤敏之総務室長が同校を訪れ、児童会の渡辺陽太さん、谷口あいさん、高木隼人さん、小貫蒼空さんの5年生4人に手渡した。セットの内容は鉛筆1ダース、ノート2冊、

西村社長(左)が児童に文具セットを手渡した

クリアファイル3枚、消しゴム2個。鉛筆には「にゆうがくおめでとう」「あかるいえがおで げんきなあいさつ」などとメッセージが記されている。

西村社長は「少しでも地元の未来を担う子供たちの役に立てたらうれしい。これを使って一生懸命勉強してほしい」と思いを伝えた。

受け取った児童4人は「私たちも1年のときにいた দিয়ে、今でも大切に使っています。ありがとうございます」と声をそろえた。

前島校長は、同社による文具の寄贈が10年目となることを踏まえ、「長年の厚意はともありがたい。新入学の児童には感謝の気持ちを持って使うよう伝えたい」と話した。文具は4月6日の入学式で新入学児童54人に贈られる。

寄付は同社のスローガン「地域と共に未来(あす)を拓く」に基づいた地域貢献活動の一環。昨年5月には元吉原小と元吉原中に各10万円を寄付した。